



2014-2015年度R.I. テーマ



「山芍薬」写真提供：長田 達明 会員



- ◆ 会長 牧野 健吉 ◆ 幹事 佐々木祐司
- ◆ 発行 会報委員会 3月担当 宮崎

## 第2303回例会 3月17日(火)

- ◆ 点鐘 牧野 健吉 会長
- ◆ 司会 佐々木祐司 幹事
- ◆ ロータリーソング 「我等の生業」

㊦㊦ ハッピーバースデー ㊦㊦



3月18日  
芦崎さん

## ◆ 会長挨拶

いよいよ待ちに待った北陸新幹線が、3月14日土曜日に開業致しました。富山県・石川県では大変なにぎわいを見せています。

テレビでも特番がたくさん生まれ、ニュースでの報道、また新聞等でも大きく伝えていただき、東京周辺からも初めて北陸地方に来たという観光客のみなさんも多いと聞いています。

今後の課題はいかにリピーターになっていただくか、ファンになっていただくかが北陸の発展に繋がっていくと思います。

私も15日に黒部宇奈月温泉駅に行ってみました。乗降客よりも地元の人達が入場券を求め、はくたかを見たり記念写真を撮ったりする人々や、新しい駅を見物する方がほとんどでしたが、本当にたくさんの人・人・人でした。富山や宇奈月で降りてくれるファン作りのために、何が必要か考えていかないといけないですね。

また3月22日(日)滑川の交流プラザで行われる『IM』の日ですが、出席される方で受付と案内係にお手伝い出来る方を4～5人募集します。ぜひご協力お願いします。

## ◆ 出席報告 (清河委員長)

- ・出席率 会員30名中(出席免除者2名) 22名 78.57%
- ・欠席者 原君、石崎君、久津谷君、慶野君、三浦君、横谷君の諸君
- ・前々回 (2301回) の修正  
メイク・アップ なし

## ◆ 幹事報告

- ガバナー事務所より
- ・ガバナーノミニー (2017-2018年度ガバナー) 候補の告知について
- 野々市RCより
- ・会長エレクト研修セミナー参加のお礼
- 国際青少年交換プログラムより
- ・派遣交換学生2015年3月分月例報告

創立1968年 (昭和43年) 5月27日 (第2610地区内創立順位19)

例会：火曜日 12:30 於. いかわ信用金庫本店5 F TEL (0765) 24-1155 第3例会 18:30 於. 喜楽 TEL (0765) 22-0715

☆3月度例会案内

	活動内容	例会場
3/22(日)	富山第一分区IM開催	滑川交流プラザ
3/31(火)	会長エレクトPETS報告	信金5階

★3月のSAA補助

吉田君・久津谷君の諸君です。よろしく申し上げます。

◆ニコニコボックス

今週までの合計額 473,000円

◆卓話 「創意工夫」



関口 齋 君

私が創意工夫と出会ったのは、小学校6年生の時に魚津市名誉市民の『川原田政太郎博士』が天神小学校へ来られ、学校に博士が揮毫された『創意工夫』の額を頂いた時でした。

博士は青年期に天神小学校の教員として奉職されていたそうです。

また、小学校の卒業時に校長先生から頂いた栞にも創意工夫の文字がありました。

このほか、勤務先の市役所にも博士の『創意工夫』の額がありました。

このように、自分の半生を振り返ると、この創意工夫が随所にありました。

さて、お話しに入る前に、ロータリー入会間もない私ですので、現在の自分の紹介からさせていただきます。

勤務しているのがNPO法人生活支援センターアットホーム新川です。金さん銀さんの名前で入善町から滑川市の間にグループホームなどの介護施設を管理運営しています。

ほかにも「てんじん地域振興会」と、本会の「魚津西ロータリークラブ」会員、最近始めた「行政書士関口齋事務所」です。

私は、魚津市役所に40年間在籍し、昨年3月末で退職しました。今日は、その在職中の思い出と創意工夫についてお話しさせていただきます。

昭和49年4月1日に魚津市に勤務し、社会人の第一歩は農政課でした。農業関連の仕事は、一口で言うと「仕事＝酒」のイメージでした。会合と言われて地域説明会へ行くと必ず酒宴がありました。嫌いではなかったのですが、ここの3年間でお酒の飲み方を教わったようなものでした。仕事では算盤主流の時代で、掛け算まで算盤だったので、算盤が下手な私としては自宅から電卓を持参し、計算していました。すると、先輩から電卓ならロッカーにあると言われ、のぞいてみると最新の電卓がありました。なぜ使っていないのか不思議に思っていると、電卓

を使っていた人が異動し使えないからでした。

算盤が下手な新採の若僧が、定数機能で連続した掛け算やトータル機能で簡単に答えを出す様子を見て、「こんなに簡単なら俺らも電卓を使うわ」となり、一気に電卓ブームが沸き起こりました。この時思ったのは、同僚が使っていても使い方は聞けないし、教えないからでした。

第二歩目は市民課です。最前線の窓口で、住民票発行の時は原本を手で探し、青焼きコピーで発行するため、遅いと叱られ、叱咤激励の4年間でした。この頃、コンピュータで漢字が使えるようになり、住民票発行にコンピュータが使えないだろうか「窓口で叱られるくらいならコンピュータを勉強して楽になりたい」と考えたのです。勉強は好きではありませんが、背に腹は代えられない、昭和54年の事です。しかし、予算要求するも市民課長段階で無理だと言われ叶いませんでした。

第三步目は会計課で、再びソロバンの世界へ逆戻りです。課員は全員算盤の達人、帳簿付けなど全て手書きの時代です。そんな中、再び電卓を使いながら思ったのは、会計事務にこそコンピュータが必要だと痛感したのです。そんな中、市制施行30周年記念として岡山県の井原市と友好親善都市を締結、第1回交換研修職員として2か月行くことになります。井原市は、コンピュータ導入で先進市だったので、魚津市も導入するため行って来いとのことでした。

これを受けて第四步目の総務課へ、いよいよコンピュータ導入に向けゼロからのスタートです。導入検討委員会の設置、運用に関する要綱等の作成、電算室を設置する場所探しから始まり、巻尺で部屋を測り配置を決め、機器搬入までの半年は充実した日々でした。余談ですが、市役所は1階から4階まで窓のサイズが全て同じで、コンピュータを運び入れる高さがなく、唯一大きかったのが市長公室（市長が賓客を迎える部屋）でした。クレーンで吊り上げ赤ジュウタンを敷いて養生した廊下から入ってきたのです。こうして昭和60年夏にコンピュータを搬入し、コンピュータ導入の九年が始まりました。翌61年4月1日に住民記録オンライン開始、税、給与、水道など外部へ委託していた業務を自己処理へ、平成元年の財務会計オンライン、この頃の魚津市の電算化水準は県下トップでした。また、この間に年号が昭和が平成に改元され、昭和64年1月7日土曜日朝8時から2日間の完全徹夜で平成元年1月9日月曜日朝8時30分を迎えました。

第五歩目は教育委員会学校教育課へ、残業がなくなり定時帰宅かと思いきや「帰りたかったら風呂敷です。」と言われ、サービス残業をしながらサケの稚魚放流事業などを始めて2年後、インターネットとの出会いがありました。県教委から電話で、村木小学校にサーバーを設置し、教育にインターネットを活用する学校インターネット事業の開始です。（このサーバーは1年後に市のホームページ開設にも間貸しました。）翌年には魚津市内の全小中学校がインターネットを使い、ホームページを開設しました。当然県内初で、この実績が「先進的教育ネットワーク事業」として全国30地域の指定をうけることになりました。魚津市教育センターにサーバーを設置

し、滑川市と魚津市の小中学校と高校及び新川養護学校も含め30校あまりで、進学校の魚津高校にもコンピュータ室が作られました。

あっと言う間の6年間で、第6歩目は企画広報室広報情報係へ、ケーブルテレビと広報の電子化を始めます。ケーブルテレビは平成11年1月1日午前1時の放送開始の3日前に番組編集機が故障、2日間徹夜で番組を再作成しました。

翌年には広報うおづの編集を電子化し、高価なデジタル一眼レフカメラも導入しました。蜃気楼を撮影した直後に報道各社へメールで配信し、市のホームページにも活用しました。

第七歩目は高齢介護課へ、介護保険制度開始の2年目でした。畑違いの福祉ですが、「介護はいつ必要になるか分かりません、他人事ではないのです。」と普及活動をしていた自分に、突然、母が脳溢血で要介護5の寝たきりになり、天神金さん銀さんを作るきっかけになりました。

第八歩目は下水道課へ、市始まって初の下水道料金改定を実施しました。内容分析しシュミレーションを繰り返しての新料金は一般家庭にやさしい料金改定のみです。

第九歩目は建設課へ、3月1日に開通した国道8号バイパスと3月14日に開通した北陸新幹線の最終の用地買収を担当しました。ほかに山ノ守キャンプ場や新平沢橋竣工など地元の方々にお世話になりました。

第十歩目は商工観光課へ、ロータリーの会員の方々にも関係の深い商工業と観光の出合いでした。新幹線開業に向けた二次交通の検討や新商工会議所の竣工、パナソニックの再編などのほか観光案内所の開設やミラたん誕生などこの2年間はオール商工観光課のすばらしいチームワークで駆け抜けたような時間でした。

最後の第十一歩目は会計課へ、総仕上げの2年間。40年で初の返咲きの会計課でした。

今まで過ごして来た市役所人生を振り返りながら、毎日何百件の決裁をしながら税のコンビニ収納システムづくりもしました。最後のコンピュータ関連事業でした。また、新川広域圏事務組合や新川育成牧場組合に富山県東部消防組合の会計管理者も兼務し、大過なく終わる事が出来ました。

まとめ（後輩へのメッセージとして）40年の役所生活において、仕事は常に『創意工夫』、『発想の転換』、『見直し』を心掛け、自分の置かれた環境で最大の成果を目指し、人との出会い『一期一会』を大切にすることだと思ってきました。

最後に一言、コンピュータは道具です  
道具は使ってこそ真価を発揮する  
使うのは自分であり技は自身で磨くこと

くれぐれもコンピュータに使われないようご用心！  
少し時間がオーバーしましたが、以上で終わらせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

## 現在の自分

- ▶ NPO法人生活支援センター  
アットホーム新川 金さん銀さん
- ▶ てんじん地域振興会
- ▶ 魚津西ロータリークラブ会員
- ▶ 行政書士関口齋事務所



## ケーブルテレビと広報の電子化

- ▶ 第6歩目は企画広報室広報情報係  
CATV事業立ち上げに従事  
放送開始3日前に番組編集機が故障、  
2日間徹夜で番組を作り直し  
広報うおづの編集を電子化  
高価なデジタル一眼レフも導入  
蜃気楼など撮影直後に報道各社へ配信  
ホームページにも活用

## 福祉と土木の世界へ

- ▶ 第七歩目は高齢介護課  
介護保険制度開始2年目  
母の脳溢血で要介護5  
天神金さん銀さんを作るきっかけ
- ▶ 第八歩目は下水道課  
初の料金改定を実施
- ▶ 第九歩目は建設課  
新幹線と国道8号バイパスの用地買収  
山ノ守キャンプ場建設や新平沢橋竣工

## 商工業と観光の出合い

- ▶ 第十歩目は商工観光課  
新幹線開業に向けた二次交通の検討  
新商工会議所の竣工  
パナソニックの再編  
観光案内所の開設  
ミラたん誕生など  
2年間はオール商工観光課の  
チームワークで

## まとめ(後輩へのメッセージ)

- ▶ 40年の役所生活は  
『創意工夫』 『発想の転換』 『見直し』  
人との出会いは『一期一会』を大切に
- ▶ コンピュータは道具  
道具は使ってこそ真価を発揮  
使う技は自身で磨き、  
くれぐれも使われないようご用心！

# 国際ロータリー第2610地区 富山第一分区 IM

魚津・魚津西・入善・朝日・黒部  
黒部中央・宇奈月・滑川RC

- ・日時：平成27年3月22日(日)
- ・会場：滑川交流プラザ
- ・ホスト：滑川ロータリークラブ
- ・魚津西RC参加者：  
牧野君、佐々木君、芦崎さん、木下君、柴垣君、  
長田君、吉田君、森本君、鈴木君、森君、久津谷君
- IM(15:20～)：進行 高緑不二子さん
- ・開会点鐘：ガバナー補佐 新庄寿一君
- ・国家斉唱「君が代」
- ・ロータリーソング「奉仕の理想」
- ・IM実行委員長挨拶：水橋哲夫君
- ・来賓紹介
- ・来賓祝辞：上田昌孝滑川市長
- ・ガバナー補佐挨拶：新庄寿一君
- ・パストガバナー挨拶：近藤俊行君
- ・地区現況報告：ガバナー 永田義邦君
- ・閉会点鐘：ガバナー補佐 新庄寿一君
- 基調講演 (16:10～)
- ・演題：クラブを活性化して 楽しいロータリー
- ・講師：国際ロータリー理事 北 清治氏
- ・総評：ガバナー 永田義邦君
- 懇親会 (17:30～)：進行 高緑不二子さん
- ・開会の言葉：ホストクラブ会長 石坂久夫君
- ・乾杯
- ・アトラクション
- ・ロータリーソング「手に手つないで」
- ・閉会の挨拶：次期富山第一分区ガバナー補佐  
黒部中央ロータリークラブ 平野 明君



## 第2304回例会 3月31日(火)

- ◆点鐘 牧野 健吉 会長
- ◆司会 佐々木祐司 幹事
- ◆ロータリーソング 「我等の生業」
- ◆ゲスト (株)吉野自動車 代表取締役 吉野洋美 様

### ◆会長挨拶

皆さんこんにちは。

3月22日(日)に滑川市民交流プラザに於いて、富山第一分区のIMが開催され、当西ロータリークラブから11名総勢70名余りの参加にて行われました。今日は聞いていらっしやらない方に、基調講演をいただきました、国際ロータリー理事・北清治氏の話の中から少しお伝えしたい事があります。

今年の3月23日でロータリークラブが発足して110年となり、全世界では121万人となりました。日本で89,000人ではありますが、前年より2月末現在で2,000人のプラスで下げ止まりに転じている。

また、2020年に日本で100周年事業を考えている。各クラブではクラブの方向性を長期計画(5ヵ年計画)をたて、毎年マイナー見直しをすれば良い。小規模なクラブでは四大奉仕にこだわる事はない。クラブ細則も少しずつ変えていけば良い。

1985年にポリオ撲滅を宣言して30年。2018年に全面撲滅予定である。

このような内容であったと思います。懇親会は北清治氏と同じテーブルであった為、多くのお話をさせていただき大変気さくな方で親しみを覚えました。

また、当西クラブのメンバーがピンクジャンパーを着てお手伝いをさせていただいた事も大変好評を頂きました。

### ◆出席報告(清河委員長)

- ・出席率 会員30名中(出席免除者2名) 26名 92.85%
- ・欠席者 畠山君、横谷君の諸君
- ・前々回(2302回)の修正  
メーク・アップ 慶野君: 78.57%→82.14%

### ◆幹事報告

- 日本ボーイスカウト富山県連盟助成会より  
・助成会だより
- 北陸財務局富山財務事務所より  
・例会等への講師派遣について

### ☆4月度例会案内

	活動内容	例会場
4/7(火)	卓話担当: 三浦君 理事会	信金5階
4/14(火)	卓話担当: 関君 Rの友・情報紹介	信金5階
4/21(火)	夜間例会	喜楽
4/28(火)	卓話担当: 宮田君	信金5階

### ★4月のSAA補助

畠山君・南君の諸君です。よろしくお願ひします。

### ◆ニコニコボックス

- ・清河 豊君: 4女が大学を卒業し、就職しました。又、薬剤師の国家試験も無事合格しました。
- ・吉田築夫君: 孫が大学生になりました。私の孫ですから当然大した事のない大学です。

今週までの合計額 486,000円

### ◆卓話 「会長エレクトPETS報告」



木下 茂君

3月15日(日)、2015-2016年度会長エレクト研修セミナー(PETS)に行ってきました。場所は金沢国際ホテル、北陸新幹線開業に伴う金沢駅周辺のにぎわいは予想通りでした。

永田ガバナー開会点鐘に始まり、柳生ガバナー(野々市ロータリークラブ)の国際協議会報告及び所信表明、次期ガバナー補佐の紹介がありました。

次年度RI会長、スリランカのラビンドラン氏のテーマは「世界へのプレゼントになろう」です。

ロータリーの栄光は人生の本当に大切なことに目を向け、私たち自身が世界への贈り物となる方法を見つけ、より充実した意義ある人生を送ろうです。

ガバナーメッセージは「ロータリーを楽しむ」です。

ロータリーを交換・交流の場として、能動的・主体的に参加することで自分自身が磨かれ、地域の経験豊かなリーダーと、また、若い経営者の方々と最高の模範・刺激の場としましょう。

あくまでも“人は人によってのみ磨かれる”のですから。

第2610地区、具体的目標として、RI会長のテーマの理解と促進、前年度に続き「ふるさとを育み世界の平和へ」をテーマに、財団活動に取り組み、活動の実を上げたい。

ロータリー財団委員会(黒川委員長)より、ロータリー



財団の補助金のしくみ・申請要綱、当クラブの労災病院への図書設備事業も紹介されました。

次期地区友情交換委員会（柴田委員長）より、第5回日台ロータリー親善会議について、台湾との親善の歴史、会議当日のプログラムが発表され、予定は2016年6月5日、金沢県立音楽堂・ホテル日航金沢です。

続いて、米山記念奨学会事業、会員拡大増強、地区組織・地区行事については、2015年5月24日、野々市文化会館です。

地区資金案・収支予算案・送金について、本田委員長より地区資金確保が厳しい中、前年並み予算確保により、ロータリー活動の事業支援を行いたい。

会員数は前年の2610→2630人とした。

1人当りの人頭分担金を1,000円増額の16,000円とした。

閉会の後、2階で懇親会に参加し、帰りは新幹線36分の乗車で黒部宇奈月温泉駅に到着しました。

